

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会
地上業務委員会（第 54 回） 議事概要（案）

1 日 時 : 令和元年 6 月 28 日（金）14:00～15:30

2 場 所 : 三田共用会議所 第 2 特別会議室

3 出 席 者（敬称略、順不同）

[構成員]

三瓶 政一（主査：大阪大学）、足立 朋子（東芝）、飯塚 留美（マルチメディア振興センター）、市川 武男（日本電信電話）、上村 治（ソフトバンク）、斉藤 佳子（パナソニック）、阪田 史郎（千葉大学）、佐藤 孝平（電波産業会）、橋本 明（NTT ドコモ）、増田 浩代（富士通）、松永 彰（KDDI）

[関係者]

趙 兵選（内田構成員代理：楽天モバイル）、新 博行（NTT ドコモ）、石川 禎典（日立製作所）、菅田 明則（KDDI）、福本 史郎（ソフトバンク）、本多 美雄（エリクソン・ジャパン）、三留 隆宏（スカパーJSAT）

[事務局]

中里 学（総務省移動通信課新世代移動通信システム推進室）、中村 元（同左）、有村 祐輝（同左）、三宅 雅矩（同左）

4 配 付 資 料

資料地-54-1	第 53 回地上業務委員会議事概要（案）
資料地-54-2	ITU-R SG5 関連会合報告書（案）
資料地-54-3	ITU-R SG5 関連会合への日本寄与文書（案）
資料地-54-4	ITU-R SG5 関連会合への対処方針（案）
参考資料 1	ITU-R SG5 関連会合の開催案内
参考資料 2	ITU-R SG5 関連会合の日本代表団一覧
参考資料 3	地上業務委員会構成員名簿

5 議 事 概 要

(1) 地上業務委員会（第 53 回）議事要旨について

【資料地-54-1】

地上業務委員会（第 53 回）の議事要旨について、事務局から説明があり、意見等がある場合は、7 月 5 日（金）までに事務局に連絡することとされた。

(2) ITU-R SG5 関連会合の報告について

【資料地-54-2】

事務局から、ITU-R SG5 WP5D (第31回 bis 会合) について報告があり、WP5D 報告書(案)については、特段の質疑なく承認された。

(3) ITU-R SG5 関連会合への日本寄与文書案について

【資料地-54-3-1】

KDDI 菅田氏から、「新報告草案 ITU-R M. [IMT. EXPERIENCE] へ向けた作業文書の更なる修正提案」について説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本 構成員 日本としては次会期に持ち越しとなっても本報告を完成させたいとの立場でよいか。

菅田 氏 その通り。

橋本 構成員 日本として経験情報を入力することがどのように他国に役に立つのか、その点を明確化されるように今後検討を続けてもらいたい。

【資料地-54-3-2】

エリクソン・ジャパン 本多氏から、「IMT-2020/VVW 文書に対する Way Forward」について説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶 主査 インドの案において、他の文書の記述を参照する際に不整合が生じたときの責任などは、誰が持つことになっているのか。

本多 氏 前回会合での文書においては明確となっていない。

三瓶 主査 インド案については、常に最新版を参照するという条件が成り立たない限り認められないと思われるが、そのような主張はできないのか。

石川 氏 名指しでの批判は避けたい。

三瓶 主査 前述のリスクが存在する場合、認めるわけにはいかないとの主張ができるよう、英文の言い回しなど検討いただきたい。

【資料地-54-3-3】

日立製作所 石川氏から、「新勧告 M. [IMT-2020. SPECS] を Hyperlink 付で完成させるために必要な作業の提案」について説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶 主査 提案内容については、IMT-Advancedの際と同様のプロセスとの理解でよいか。

石川 氏 勧告作成のための情報・プロセスはIMT-Advanced及びIMT-2000の際と同様である。

【資料地-54-3-4】

NTT ドコモ 新氏から、「勧告 M. 1036-5 改訂草案への修正提案」について説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本 構成員 本勧告は毎会期最終会合で改訂案をまとめるよう動いてきた。今会期、次回会合でまとまる見通しはあるか。

新 氏 総会に持ち込むべき要素もないと思われるので、次回WP5D会合で完成させ、SG5で採択されるよう進めたいと考えている。

三瓶 主査 本周波数アレンジメントにて扱う周波数の範囲はどこまでであるか。

新 氏 無線通信規則でIMTに特定されている周波数のみであり、28GHz帯などは入っていない。

【資料地-54-3-5】

ソフトバンク 福本氏から、「RR No. 5. 388A に従い HAPS を基地局として利用する IMT-Advanced システムが関与する同一帯域の共用分析に関する新報告草案に向けた作業文書の修正提案」について説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本 構成員 本提案では、RR No. 5. 388Aに記載の2GHz帯におけるHIBSの実現を第一に考えているのか、それとも他の周波数帯での実現についても考えているのか。

福本 氏 HAPSで使用可能な周波数帯を拡張する新議題をWRC-23に向けて提案しているところであり、最終的には他のフレームワークにも拡張したいところであるが、他国との関係上安易に拙速な議論を行うことは避け、現在使用可能な2GHz帯での議論及び研究の更新等に留めている。WRC-19の結果によってどのように拡張していくかは次回WP5D会合以降で検討していく。

橋本 構成員 内容については了知。文書の体裁面について、黄色ハイライト部分が何を指すのかを明確にされたい。

【資料地-54-3-6】

KDDI 菅田氏から、「回章 5/LCCE/59 への補遺 4 への提案」について説明がなされた後、特段の質疑なく承認された。

【資料地-54-3-7】

エリクソン・ジャパン 本多氏から、「IMT-2020 評価ワークショップのプログラムに関する提案」について説明がなされ、以下の質疑応答があった後、承認された。

- 事務局 本プログラムはどの程度時間を要するのか。
- 本多 氏 基本的には終日要する。
- 三瓶 主査 評価グループが中間報告について発表するとはどのような意味か。
- 本多 氏 次回WP5D会合で最終の提案が出され、世界中の各評価グループに提案内容が共有される。その後、各評価グループが本格的な評価を行い、来年2月のWP5D会合に最終的な評価結果が提出されるが、その前の本年12月に中間報告を出すということである。
- 三瓶 主査 既に評価が始まっており、それらの中間報告が発表されるものと理解した。

【資料地-54-3-8】

スカパーJSAT 三留氏から、「暫定新報告草案 ITU-R M. [MSS&IMT-ADVANCED SHARING]に向けた作業文書に関する考察」について説明がなされ、以下の質疑応答があった後、承認された。

- 橋本 構成員 Attachment 2にWP4Cへの入力に対するコメントがまとまっているが、これは日本としてのコメントであるか、それともWP4Cにおける各国の意見を集約したものであるか。
- 三留 氏 現状としては日本としての意見であるが、WP4Cでの議論をWP5Dでの議論の手助けとなるよう入力するものである。
- 三瓶 主査 当該周波数帯は過去の分配において衛星系と地上系とが共用するとの前提のもと設定されたものである。議論の進め方について、少々整理したほうが良いように思われる。

(4) ITU-R SG5 関連会合への対処方針案について

【資料地-54-4】

事務局から、ITU-R SG5 WP5D 第32回会合への対処方針(案)について説明が行われ、特段の質疑なく承認された。

(5) その他

事務局より参考資料1-3の説明があった。

本日の審議を経て、修正の必要がある寄与文書については、7月1日（月）までに各担当課室に提出することとなった。

以上